



トッキーの  
市政トーク

四日市市長  
田中 俊行

皆さん、こんにちは！トッキーこと、市長の田中俊行です。

皆さんは「四日市ってどんなまちですか」と尋ねられたら、どのように答えますか。

四日市に住む皆さんであれば、「産業都市」「港町」「コンビナートの夜景がきれい」「水がおいしい」「交通の便が良い」など、それぞれの生活や体験から感じたイメージを伝えることでしょう。

一方、四日市から遠く離れた地域に住む人たちにとって、四日市

『公害のまち』のイメージからの脱却  
(教科書の改善)

はどんなまちに映っているでしょうか。

残念ながら、「今も公害のまち」というイメージを持っている人が多いです。以前、県外から四日市に転勤されることになった人が「マスクをたくさん用意することを真剣に考えた」と話していました。その理由は、「教科書に、煙突から出る黒い煙の中を、マスクをして学校に登校する子どもたちの写真が載っていたから」ということでした。

私は、こうした現状に強い危機感を感じ、市長就任以来、教科書会社を個別に訪問して、被害の事

実だけではなく、きれいな空気や青空を取り戻した環境改善の成果や環境技術による国際貢献なども含めて記載していただくよう、要望を続けてきました。

その結果、主要な教科書会社において、記載内容の大幅な改善がなされましたので、今後は、全国の子どもたちに、四日市の現状の正しい認識が深まり、本市の都市イメージの向上に大いに貢献するものと考えています。



公害当時と現在のコンビナートの対比写真を教科書に掲載

市民総ぐるみ総合防災訓練

先日、河原田小学校において「市民総ぐるみ総合防災訓練（市街地訓練）」を実施しました。

救出訓練や企業と連携した避難訓練・避難所運営訓練など、さまざまな訓練を行いました。炊出し訓練では、緊急貯水槽から給水した水も利用するなど、地区の特性に合わせた訓練も実施したところです。

市としても、ハード・ソフト両面で防災・減災対策に取り組んでいます。自助・共助・公助の効果的・効率的な連携が必要不可欠です。

今後とも、各種防災訓練を実践的なものとして充実強化し、「災害に強いまち、四日市」の実現に向けて、市民の皆さんとともに取り組んでまいります。



衛星携帯電話で、自衛隊などの出動要請を行う市長

全国青年技能競技大会で特別賞受賞

全国青年技能競技大会で特別賞を受賞された富山大さん（19歳）が、先日、表敬訪問に来てくださいました。

今年の大会は徳島市において開催され、全国から選抜された35歳以下の比較的若い大工さん73人が技術を競い合いました。

大会では、決められた課題（今回は「四方転び踏み台」）を、限られた時間内にいかに上手に作れるかが評価されることとなります。

後継者不足と言われている大工さんですが、四日市市に、富山大さんのように優秀な若い大工さんがいることは頼もしい限りです。



試作品の説明をする富山さん（右）と市長

ト  
ピ  
ッ  
ク  
ス

有料広告掲載欄

～地域とともに160有余年 事前のご相談から至急のご依頼まで 葬儀のことなら24時間365日～



株式会社 ふじや本店  
光倫会館  
0120-114248

- 本社／四日市光倫会館  
〒510-0836 四日市市松本町北大谷 2015  
[TEL] 059-351-1151 [FAX] 059-351-4224
- 光倫会館 桜ホール  
〒512-1211 四日市市桜町 6613  
[TEL] 059-325-2482 [FAX] 059-325-2482
- 富田光倫会館  
〒510-8014 四日市市富田 2丁目 3-7  
[TEL] 059-361-2481 [FAX] 059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,182人 [9月末日現在 (前年比-357)] ■火災件数 9件 [9月分 (前年比+2)] ■交通事故件数 865件 [9月分]